

# もなみっこ

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 学校だより

令和6年7月25日発行 第2号

## 「一学期を振り返って」

教頭 三坂佳慎

4月に北海道鷹栖養護学校から異動してきた教頭の三坂です。着任式を行うことができず、保護者の皆様には、きちんと挨拶する場もないまま1学期が終わろうとしています。この場をお借りして、改めてよろしくお願ひいたします。

また、保護者の皆様、もなみ学園の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動への深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は、初日の水道管の破損による臨時休校で始まりしました。春休み明け久し振りに学校に来ることを楽しみにしていた児童生徒の皆さんや、新年度に向けていろいろな準備をしてきた保護者の皆様には、大変なご迷惑とご不便をお掛けしました。未だ完全な復旧には至っていませんが、児童生徒が安心安全な学校生活を送るため、少しずつ修繕をしているところです。

延期となった入学式では、小学部2名、中学部4名、高等部13名の新入生を迎え、全校児童生徒75名で始まりました。担任の先生から名前を呼ばれ、元気よく声を出したり手を挙げたりして、自分を表現する姿が印象的でした。

高等部では、5月22日から24日にかけて、3年生の見学旅行がありました。飛行機で大阪方面に向かい、「海遊館」では大きな水槽とジンベエザメに驚いたり、みんなお待ちかねのUSJでは、アトラクションやお土産店、昼食を楽しんだり、集団で行動することや、約束を守ることなど、楽しみながらよい経験ができたと思います。

6月21日、小学部では「運動会」を行いました。子どもたちが元気に走っている姿や友達のことを意識して競技に取り組んでいる姿、友達の頑張りに声援を送っている姿などを見ることができました。子どもたちにとって「運動会」という行事がいかに大切か実感しました。暑い中、お子さんの応援をいただいた保護者やご兄妹の皆様、どうもありがとうございました。

中学部では、7月10日から12日にかけて、3年生の見学旅行がありました。民族共生象徴空間「ウポポイ」では、アイヌの人々の生活や文化に触れたり、ムックリ作りの体験をしたりすることができました。初めて見たり体験したりすることを通して、自分の中の世界を広げてほしいと思います。

明日から夏休みに入ります。今年の夏も昨年以上に暑くなりそうです。どうかお子さんも保護者の方々もお体に気を付け、事故や怪我などされず、ご家族で楽しい思い出をつくっていただければと思います。

2学期の始業式に、笑顔いっぱい登校してくる子どもたちに会えることを楽しみにしています。



今年度の高等部は 1 年生 13 名を迎え、総勢 39 名でスタートしました。高等部では、卒業後の生活を想定し、いろいろな体験活動を行っています。

1 学期はそれぞれの学年で校外での活動がありました。1 年生は、「地域を知ろう」の単元で、学校周辺を歩いてどんな施設があるかを確認しました。学校に戻って、自分たちで撮った施設の写真とその施設についてのコメントを模造紙に貼ってオリジナルの地図を完成させることができました。2 年生の校外学習では、バスと地下鉄を利用して新札幌にある札幌市青少年科学館を訪れました。科学館の展示物に生徒は興味津々で、ななめの部屋の不思議な感覚を体験したり、空気の力を使ってボールを転がすことに挑戦したりしていました。3 年生は、5 月に見学旅行があり、2 泊 3 日で大阪へ行きました。1 日目の海遊館ではジンバイザメの大きさに圧倒され、2 日目の USJ ではグループごとにアトラクションに乗ったり、キャラクターと写真撮影をしたりと普段の生活では味わうことのできない体験をしてきました。

いつもと違う活動を通して成長した姿を見せてくれている生徒たち、これからの活動も応援してください。



1 年 地域を知ろう



2 年 青少年科学館



3 年 USJ

「安心・安全な学校づくりのために」

健康安全部 駒澤 佑輔

健康安全部では、事故の防止や健康管理など、児童生徒が安心・安全に学習に取り組める環境づくりを推進しています。感染症の対策として、手洗い・うがいの指導や衛生備品の確認を行ったり、学校設備の安全点検を行ったりしながら、自然災害や交通事故など、様々な危機に備え、地域の関係機関と連携しながら、子どもの安全を確保する取組を実施しています。避難訓練では、地域の消防署と連携しながら、実際の被害状況を想定した訓練を行いました。児童生徒は「おはしも」の約束を守りながら、落ち着いて避難することができました。

5月と7月に実施した救急救命講習では、本校の教員を対象に、講師を招いて「児童生徒が食べ物を詰ませた時の対応」や「熱中症にかかった時の対応」、「怪我をした児童生徒への対応」など、様々な場面を想定しながら、いざという時に叱嗟に動けるよう、対応を学びました。

これからも子どもたちが安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、学校における安全対策を徹底していきます。



避難訓練後に行った消火訓練の様子



救急救命講習の様子

## 夏休みの生活について

夏休みを元気に楽しく過ごすために  
気をつけてほしいことが3つあります！！

### 1. 交通安全に気をつけましょう。

お出かけの機会も増えると思います。横断歩道を渡る時には  
しっかり信号や左右を確認してから渡りましょう。  
車は急に止まれません。

### 2. 規則正しい生活をしましょう。

生活リズムを崩さないように、休み中も早寝早起きを心がけましょう。  
食べ過ぎや飲み過ぎにも注意しましょう。

### 3. 暑さに負けず、太陽の下でも遊びましょう。

外に出て元気に体を動かすことで気持ちもリフレッシュされます。  
太陽の光を浴びて、丈夫な体をつくりましょう。  
紫外線対策のため、帽子を忘れずに！！  
☆夏休みにしかできない体験があります。

楽しい夏休みをお過ごしください。

## 子ども相談支援センター

### 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する  
悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩み  
など相談してください。

#### ●電話相談

☎ 0120-3882-56

(無料、毎日 24 時間対応)

#### ●メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

いそ ばあい でんわ そうだん りょう  
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

#### ●来所相談

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目

(土日・祝日、年末年始はお休みです)

※上記の電話番号まで予約



## もなみの風

もなみ学園分校では、外部専門家の皆さまにアドバイスをいただきながら、指導・支援の充実に努めております。

### 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる

自閉症・発達障がいのある児童生徒に関すること

#### ST (言語聴覚士)

言語発達や摂食に関すること

#### OT (作業療法士)

姿勢や体の動き、道具の操作などに関すること

#### 自立活動教諭 (\*近隣校より)

肢体不自由を併せ有する児童生徒に関すること

#### 心理士 (\*近隣大学より)

主に心理的アプローチに関すること

夏季休業中には、札幌自閉症・発達障がい支援センター「おがる」所長 坂井翔一氏による職員学習会を予定しております。2学期も引き続き、多様な視点で児童生徒の姿をとらえ、より良い指導支援につなげられるよう、外部専門家の皆さまのお力添えをいただきたいと思いますと考えております。